

2007年2月

旬(せきじゆ)：「寒(か)で衣(い)をさら(さら)け(け)るに重(おも)た(た)る(る)」という意味

住まいの瓦版

株式会社 鈴木住研

TEL 0424-24-1449

FAX 0424-24-1446

Mail vaio4492@jcom.home.ne.jp

ことわざ 諺 **名を取るより得を取れ**・・・名誉や名声よりは実利を取った方が良いということ。「名を捨てて実(じつ)を取る」とも言う。

世界遺産

【白川郷・五箇山の合掌造り集落】

白川郷・五箇山の合掌造り集落は、飛騨地方の白川郷(岐阜県大野郡白川村)・五箇山(富山県南砺市)にある合掌造りの集落で、1995年12月9日にユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録されました。合掌造りは江戸時代から始められた蚕(桑を食餌とし、絹を生産してサナギの繭を作る、チョウ目に属する昆虫の一種)産のため、屋根裏に棚を設置したのが始まりといわれている。豪雪による雪下ろしの作業軽減と屋根裏の床面積拡大のため、急な角度を持つユニークな茅葺屋根になったと考えられています。又、屋根はどの家屋も東西を向いていて、これは屋根に満遍なく日が当たるようにするため、集落が南北に細長い谷にあり、南北それぞれの方向から強い風が吹くので、風を受ける面積を少なくするためといわれています。世界遺産登録後、急激に観光客が増加。近くを通る高速道路(東海北陸自動車道 現在飛騨清見JCT~白川郷ICの26キロが未開通であり、この区間は天生峠[あもうとうげ]直下を貫く飛騨トンネル[10,712m]が掘削中で、完成すると日本で2番目に長い道路トンネルとなる)の全面開通も2007年度に迫っており、地域社会の生活と観光地化の狭間で、様々な問題も発生している。



竿の長さ 956~1709mm
最大ストローク 天井面より958mm
吊下げ可能重量 8kg
外形寸法 115×1200×H59mm
質量 4.5kg
本体定価 37,380円

今まで使っていなかった天井部を有効に活用して、スッキリ部屋干しができます。取付も、大掛かりな工事のいらない簡単ビス止めタイプですので、リフォームにもおすすめです。操作コードを引くだけで、簡単に竿の昇降ができ、洗濯物の量や干し方に合わせて、竿の伸縮ができます。長袖ワイシャツで約26枚、Tシャツなら約32枚、約8kgの洗濯物が干せます。

松下電工

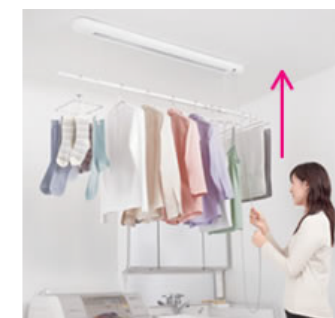
ホシ姫サマ(手動・天井直付けタイプ)



手元で干して、乾かす間は天井へ。洗濯機のある洗面室なら、作業効率もグンとアップします。



使いやすい高さ(天井から958mm)まで竿が降ろせるので、楽な姿勢で干せます。



干した後は、操作コードで天井側へ。邪魔にならず、見栄えもスッキリです。



を復活させる裏技

- 合皮ソファーに落書き・・・
ボールペンや油性マジックの汚れが・・・
- 皮革の色落ちがないかを確認してから作業をします。消毒用エタノールを使うのは、皮革の染料を落とさない程度に、油性や水性の染料を落とせるからです。付いてすぐの汚れの場合、台所用中性洗剤を指につけて軽く擦ると落ちる場合があります。
- 用意するもの
消毒用エタノール、ジフ、塩素系漂白剤、タオル
1. 水拭き&乾拭き。皮脂等の生活汚れを落とす。
 2. 消毒用エタノールをハンカチや化粧用コットンにつけ、拭うように軽く拭く(第一次色素落とし)
 3. ジフなどを指につけ、円を描くように軽く擦り、拭きあげ
 4. 対象面が完全に乾燥後、キッチンブリーチや衣類用ハイター(塩素系漂白剤)などを綿棒などにつけて繰り返し塗布
 5. 水拭きをして、よく乾かせましょう
漂白剤を使うと、当然多少色落ちします
酸性の洗剤やお酢と、漂白剤は混ぜないで下さい

☆大根☆

大根の旬は12~2月。大根はビタミンC、でんぷん質分解酵素のアミラーゼが豊富です。大根は秋から冬に甘みが強くなり、水分もたっぷりを含んでいます。葉つきの場合、葉を切り落として(葉から水分が抜けるのを防ぐ)ラップに包み、冷蔵庫で保存します。

簡単レシピ ~ごま風味の菜飯~

大根の葉 1本分
ごま油 大さじ1強
しょうゆ 大さじ1~2
ご飯 4膳分
ごま(切りごま) 大さじ2



1. 大根の葉は小口切りにし、ごま油でしっかり炒める。
2. (1)にしょうゆを加えて炒りつけ、温かいご飯に切りごまとともに混ぜる

東京ドームの屋根ってどうなっているの?

気圧とは、空気の高さによって生じる圧力のこと。地表の気圧は1013ヘクトパスカル。上空に行くほど空気の層の重量は少なくなるので、気圧は低くなります。飛行機や高層ビルのエレベーターで昇降しているときに、耳の鼓膜が圧迫されるように感じるのは、この気圧差のいたずらです。



東京ドーム室内

ところで、この気圧の差を利用して造られたのが、東京ドーム。巨大なドームの屋根を支えているのは、なんと3ヘクトパスカルの気圧差なのです。仕組みとしては、送風機によってドーム内に空気を送り続け、内部の気圧を外気より3ヘクトパスカル高くするというもの。これによって、畳2万枚という巨大な屋根を支えているというわけです。東京ドームを訪れたことのある人ならおわかりでしょうが、回転扉を通過して外に出るときに後ろからポワッと風とともに押し出されるような感覚になるのは、この気圧差によるものです。ちなみに、3ヘクトパスカルという気圧差はビルの1階と9階ぐらいの気圧差に相当します。